

2021年3月19日

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	株式会社エクシオジャパン
所在地	神奈川県横浜市西区北幸2-4-3 GM21 ビル3階
代表者氏名	佐伯 猛
保育園名	サンライズキッズ保育園 瀬田駅前園
園長名	山口 晃治
定員（利用人数）	16名（10名）
施設・事業所所在地	滋賀県大津市大萱1-6-18 Blezio 9
T E L	050-5807-2308
F A X	077-548-8777
電子メール	setaekimae@sunrisekids-hoikuen.com
ホームページアドレス	<a href="https://www.sunrisekids-hoikuen.com/seta/">https://www.sunrisekids-hoikuen.com/seta/</a>

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	2021年3月1日（オンライン調査）

## ○ 総合評価

(株) エクシオジャパンは2012年から保育事業に参入し、現在全国で24の小規模保育園プリスクールを運営している。滋賀県内では目下3園（2021.4.1甲賀園設立決定）で、本園は3番目（2019.4.1.設立）の園である。待機児童解消や子どもを育てる事が未来の日本を築く社会貢献の一助になればと、特に0歳～2歳は人格形成の基礎をつくるとても大切な時期であることを認識し、この分野に参入した。

「もっと輝け、明日のぼく、わたし！周りに光とパワーを与える。ぽかぽか暖かい太陽のような子になろう」を保育理念とし、温かい家庭のような環境の中で情緒の安定を図り、落ち着いた環境、一人ひとりの個性を大切にすたっぷりの愛情をもって保育することを基本にしている。

この時期が脳の成長の一番大切な時期ということ踏まえ、育脳を大きな軸に体操・リトミック・英語カリキュラムを取り入れ、集中力を持続する力を養うため絵本の読み聞かせプロジェクトとして意識的な日々の活動として一日に10冊以上の読み聞かせに取り組んでいる。

小規模園で子どもの人数が少なく、縦割り保育の状態が何時もあり、0才児～2歳児の子どもたちが顔見知りとなり、大きい子どもと小さい子どもの関わりが深くいたわりあう心が芽生えている。小さい子どもたちは年上のこどもの動きを見て成長できることも多く、また担任以外の保育士が身近にいて、顔見知りの保育士とは愛着関係が築けている。

保育士間で担任以外の子どもの様子が日々の中で自然に共有できている。家庭のような環境を作り、子ども達の笑顔作りに努めており、保護者の評価も高い保育園である。

## ○ 特に評価の高い点

### 1. 運営組織と運営方式について

- ・会社組織でマニュアルが統一されており、問題が起こった際にも本部の組織でチェックや指導が行われるのは心強い。本部のバックアップが常にあり、問題解決にもスムーズに取り組み、保護者への対応にも迅速な指導が行われるのは心強く安心できる。
- ・全園共通 Web 配信システムで指導計画や現場からの情報提供・報告など迅速に実施し合い、これらの活動は業務合理化に直結しており、本部の支援もタイミング良く行われている。
- ・年4回の自己評価システムで園長との面談が何時も行われ、加えて360度査定というユニークな方式（上司も含めて、無記名で人事評価・査定を行い本部に送付し、本部で整理を行ったうえ各個人に還元されて来る）も有効に働いており、結果的に職員同士気楽に相談し合うコミュニケーションが定着している。

### 2 美化活動、安心・安全の環境整備について

- ・環境整備、美化に力を入れており園内の整理整頓が行き届いている。  
子どもに危なくないように壁はクッション材を活用し、クラスの仕切りには、柱、仕切りがなくフェンス柵を使用し、その柵の開閉時にはロックによる常時施錠等、子どもの安全第一で進めている。  
トイレ内の清掃も行き届き、便座は暖かくトイレトレーニングが進みやすい。手拭きは紙タ

オルを使用し感染症防止に対応している。

- ・美化に力を入れており0歳児のほふく場所や室内の動線は勿論、園内隅々まで清掃・消毒・換気・温度や湿度に留意し、園内美化が徹底している。昼寝用のコットは保育園で整備し清潔を徹底しており、布団の月曜持参、金曜の持ち帰りが無いことは、保護者にとっても大助かりのサービスとなっている。
- ・環境・美化については各ポイントの写真を撮り、毎週金曜日に本部へ報告している。

### 3. 職員にとって働きやすい職場環境作りについて

- ・職員のワークライフバランスを考え、残業はせず仕事を終えたあとを家族やプライベートな時間として個々に活用でき、仕事に臨む時は健康な心の状態で子どもたちと接し、明るい笑顔で保育・職場作りをしている。
- ・自己評価を3か月に1回実施し、自分を評価する事で気づきやスキル不足など力量の把握を確認できるようになっている。  
また、その内容により上司は職員の悩みに気づくのが早く、面談の中で解決策を見出す事が可能となっている。
- ・職員間での全員360度査定を継続し、明るい環境の中で保育の質向上に努めている。
- ・園長の子どもを愛する心、仕事への前向きな姿勢は素晴らしく子ども達も馴染んでいる。いつまでもその仕事への純粋な気持ちを持ち続けて、園運営を進めて行って欲しい。

### 4. 食育について

- ・食べることは「楽しい」「美味しい」を目標に、スプーンの持ち方・箸の使い方などマナーも慌てず自然に身につくように伝えている。また離乳食への移行については、保護者と密接に連携し行っている。
- ・栄養士を配置し専門的分野の相談・助言を提供するとともに調理士と協力して、自園調理で地産地消をモットーに毎日新鮮な食材を購入し、子ども達の栄養やバランスを考慮した給食・おやつを提供している。
- ・園内に調理室がありそこから子どもたちの様子を見て、喫食状況や嫌いなものが把握でき、調理方法に工夫ができています。
- ・誕生会や行事食を取り入れ、楽しく食事ができる子ども・食べ物に興味を持てる子・食べることを期待する子を育むとしている。ホームページで毎日のメニューを公開し、喫食状況は連絡帳で知らせている。
- ・園長を筆頭として保育士と園児の関係が温かく、愛される子どもの姿が見られた。また子どもたちが明るく元気に過ごしており、園で作られる食事やおやつが美味しいのか食欲も旺盛で保育園生活を楽しんでおり、保護者の評価も非常に高い。(保護者アンケート結果100%)

### 5. 連絡帳について

- ・保育園は入園時に「園アプリ」の使用について説明し、WEB活用の相互連絡を中心にコミュニケーション手段として有料ではあるが活用を勧め、購入者は便利なアプリの利

用が出来る。(購入されていない方でも連絡帳はWEBのマイページが開設される)

- アプリの使用により保護者が見たい時に連絡帳や子育て情報、子どもたちの様子をウェブカメラの動画で見ることが出来、家族間でも共有できる。それを使い家族間で話題に上るのは保護者にとって子育ての成長の共有化が出来る。

#### ○ 改善が求められる点

##### 1、保護者との絆強化について

- コロナ禍で保護者支援の機会が減っている。色々工夫はみられるが保護者不安解消のため、保護者への声掛けをさらに進めてほしい。子ども達の少しの変化、成長やうれしい事も含めて伝えることで何時も見て貰えているという安心感になり、保護者の思いに答えられる。

##### 2、職員の園内環境及び健康管理について

- マンション内で部屋の確保が難しいと思うが、職員の休憩室スペース捻出を期待したい。もしこれが出来た場合は、保護者の相談室にも使用可能となると思われる。
- 職員の健康管理についても、とくに iPad 入力を中心に細かい仕事が多く、メンタル面と共に眼科検診も追加して健康診断を推進して行くことを検討されたい。

##### 3、地域社会との関係作り

- 地域社会との関係特に災害時の救出などを考えると、自治会や同じビル内の使用者との協議などから前進して行って欲しい。当地の民生・児童委員との関係作りも行政の支援を得て相談できる関係作りを期待したい。
- 地域の方に身近な保育園として愛されるように PR、地域住民に開放できるようなイベントなどを企画して地域での保育園として愛される存在となってほしい。

#### ○ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受けるにあたり、コロナ禍ではありましたが、多項目の評価や書類の調査、三密を避けての担当者の方々の現地調査、その他、一日の保育の様子と各職員への質疑応答をリモートを通して行うことが出来ました。コロナ禍での対応は通常とは異なったものになりましたが、その分、より多く話し合いの機会を設けていただき、第三者評価機関のスタッフの方々には事前にたくさんのお時間を割いて頂いたり、新型コロナウイルスへのご配慮の中、沢山のご提案と柔軟な対応で厳正な評価に努めてくださったことに心より感謝しております。

利用される各家庭のご意見を保護者アンケートを通して吸い上げて下さり、その後、園に対する意見を分析して、グラフ化して頂いたことにより、現時点で何が出来ているか、どのようなニーズや伝えきれていない点が存在しているかなど、保護者目線立って保育園としての機能と役割を客観的視点から判断していただき、今後の私たちの課題を見つめることができました。現時点では、コロナ禍で地域との交流や子育て相談の認知は少ないですが、在園児のご家庭で育児相談等があれば連絡帳、登降園のコミュニケーションをしっかりと図り、園児さんや保護者様が安心して利用して頂ける職員一同努めて参ります。

その他にも子どもたちの生活や活動の様子、園児との関わりを通して、ありのままの姿を見ていただけ、子どもたちの視点にも立ち、子どもたちが集中して保育者の絵本の読み聞かせを聞いた

り、散歩から帰って来た際には第三者評価の職員の方々に「〇〇行ったよ」など楽しそうに話しかける様子を見て頂け、園生活の充実した園児さんたちの姿に共感してもらえたのではないかと感じております。

最後に、働いている職員一人ひとりの面談からも職員の保育に対する姿勢や子どもたちの気持ちを大切汲み取りながら促している保育を理解して頂けたことに感謝しております。

今後も刻苦勉励しながら、子どもたちの成長への関わりと保育の発展に貢献し、より良い保育環境作りに努めて参ります。